

しらびそ峠から奥茶臼山(2473.9m)

山行日：平成 23 年 6 月 18 日

メンバー：やまたくお、和利

コースタイム：船明ダム(4:00)－しらびそ峠 1833m(7:00)－尾高山 2212.4m(8:45)－奥尾高山 2266m(9:35)－岩本山 2269m(10:55)－奥茶臼山 2473.9m(12:01)－岩本山(14:00)－奥尾高山(14:45)－しらびそ峠(16:05)－遠山温泉－船明ダム(19:40)

天候：曇りのち雨

信州遠山郷しらびそ高原、しらびそ峠から新緑の赤石岳の眺望を期待して入山した。峠からは兎岳から北へ続く中盛丸山、大沢岳、左肩に赤石岳、荒川岳と見えている。



しらびそ峠からの眺望

尾高山までは標高差 400m あまり、約 2.7km の整備された山道が続いている。久しぶりの山行は登り始めてすぐ、つづら折りの急斜面で脚にきた。



ニリンソウ

林の中では可憐なニリンソウ（キンポウゲ科）が迎えてくれた。



シダの緑が眩しい

ミズナラやブナ、ナナカマドなどの広葉樹、トウヒ、シラビソなどの針葉樹の混成林が続
き、幻想的な雰囲気をかもし出している。シダや苔などの目に鮮やかな緑色が眩しい。



葉状地衣類



ヤマナメクジ

こんなやつも居た。長さ 15cm は優にある。



ナナカマドの巨木

尾高山を過ぎ、小さなアップダウンを繰り返して奥茶臼山を目指した。緑色の世界にガスがかかり、無数のサルオガゼ（地衣類）が垂れ下がって、この世とは思えないほど怪しげな景色になってきた。雨が降り出す前になんとしても山頂を踏みたい。登山道は意外によく踏まれており赤テープも多い。



奥茶臼山(2473.9m)山頂

雨がポツポツと落ち始めた。前方に茶碗を伏せたような丸い山が見える。カップも着ずに、小走り状態で最後の斜面を登りきった。12時1分登頂、登山開始から丸5時間、目の前にあるはずの赤石岳もガスの中、展望は何も無い。カメラに納めて即刻下山開始。雨はすぐに本降り状態と成り、カップを着て往路を戻る。思ったよりもアップダウンが多く、登り以上に苦しく感じる。登山道にはあちこち水たまりができ、木の根で滑りまくって怖い。こんな雨も久しぶりだ。濡れた体に冷たい風が堪える。あらためて新しい雨具がほしいと思った。

赤石岳の展望を期待して出かけたが、残念な結果に終わってしまった。しかし、山の緑を存分に味わうことができた。（和利）